

地域に根ざす学校

福井市 安居小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	20回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	15人
授業ボランティア（含：低ボラ）	96人
登下校支援ボランティア	76人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

テーマ「健康や体力づくり」

具体的活動内容

①第1回小学校マラソン大会

本校の校庭は、児童玄関とは反対側の道路をはさんだ離れた場所にあるので、児童が大休みや昼休みに校庭で遊ぼうとしても気軽に行きにくい状況にある。また、中庭も狭く、体育館も併設の中学校と交代で使用するのので、どうしても普段の運動量が少ない傾向にあった。

一方、前年度において、学校評価の反省や保護者からの要望もあり、児童の運動に関する意欲向上と体力増進を考え、今年度から小学校でもマラソン大会を開催することになった。

体育の時間の始まりには、時間走を取り入れて、子どもたちの意欲を高め、長距離走への不安を取り除いた。一か月前には、保護者へマラソン大会のコースのお知らせをし、農道を使用するため、自治会長や地域の方へも回覧板などで、お願いを行った。

また、地域の体育振興会から、3人の協力者をお願いし、スターターや先導・最後尾の伴走に来てくださった。

当日は、たくさんの保護者の方が応援にかけつけてくださり、子どもたちも全員完走して大変好評を得た。



②学校保健委員会

10月26日、福井県立すこやかシルバー病院の管理栄養士、久世 浩江氏をお招きして「早寝・早起き・朝ごはんは心もからだも健康になろう！」をテーマに学校保健委員会を行った。健康委員会のアンケートをもとにした劇や発表や3年生による総合的な学習の時間に育てた「大豆」に関してのクイズや劇の発表などを通して、生活リズムの大切さや食の大切さについてみんなで考えることができた。



成果と課題

初めて行ったマラソン大会であったが、意欲的に自分たちで練習をしたり、休日に親子でコースの試走をするなどして大変関心の高い行事になった。保護者の方に監察や安全指導の協力を得ることもできた。児童は最後までがんばることの大切さや完走することの喜びを感じていたようである。

学年に応じた距離や安全なコースの決定が難しかった。農作業や工事車両との関係で練習できないことがあったので、地域と連絡を密にして来年も続けて行きたい。

